



佐藤クリスタル

国際交流員コーナー

CIR's Corner

2022年11月 第6号



皆さん、こんにちは！江別市国際交流員の佐藤クリスタルです。「国際交流員コーナー」とは、私が毎月作成する国際交流や多文化についての記事です。様々な興味深い国際的なテーマを紹介します。

今月のテーマ: Thanksgiving (感謝祭)

Thanksgiving (サンクスギビング)とは感謝祭という意味なのですが、アメリカとカナダで秋に行われる収穫祭のことです。アメリカ人にとって、感謝祭はクリスマス並みにメジャーな祝日ですね。今回は、感謝祭の歴史と習慣を紹介します。



Jennie Augusta Brownscombe, *The First Thanksgiving at Plymouth*, 1914

収穫祭は昔から世界中の様々な宗教と民族が祝っていますが、最初に北米の植民地で行った感謝祭はいつどこだったかが歴史家の中で議論になっています。多くのアメリカ人は、1621年の秋にマサチューセッツ州のプリマス植民地で祝ったと信じています。その前の年に、

プリグリムという植民者は、宗教の自由を得るために、メイフラワー号でイギリスから植民地を設立しにアメリカに来ました。しかし、栄養不足と病気で半数が亡くなり、生き残ったプリグリム達はネイティブ・アメリカンのワンパノアグ族に助けられ、そのおかげで、厳しい冬を乗り越えられました。トウモロコシやカボチャなどの農業を教えてもらい、豊作に恵まれたことを神様に感謝するために、三日間ワンパノアグ族と一緒にご馳走を食べたとされています。とても有名な話で、小学校で第一回の感謝祭の演劇をしたことがあります。(私はプリグリム役でした。)

1621年から、感謝祭が他の植民地に広がりました。約150年後に、アメリカ独立戦争が始まり、イギリスを支持した植民者がカナダに避難したので、カナダでもアメリカのような感謝祭を祝うようになりました。ちなみに、カナダではアメリカよりも先に感謝祭を祝ったと言う歴史家もいますが、証拠が不十分ですし、もし祝ったとしても、宗教的な礼拝に限られ、アメリカのようなご馳走はありませんでした。私

は、ご馳走がない感謝祭はカウントされないと考えています。感謝祭が公休日になったのは、アメリカで1863年、カナダで1879年でした。アメリカの感謝祭は、11月の第4木曜日ですが、カナダは冬が寒いので、感謝祭は少し早めに祝い、10月の第2月曜日です。

アメリカとカナダの感謝祭の習慣は似ています。一番大切なのは、家族とのご馳走です。昔からほぼ同じメニューで、北米起源の食材をふんだんに用います。まずは、ターキー(七面鳥)がメインです。感謝祭を「ターキー・デー」(七面鳥の日)と呼ぶ人も多くいます。家族の人数が多ければ、ターキーと一緒にハムも用意します。そして、ベジタリアンやヴィーガンの親戚がいれば、tofurkey という豆腐でできたターキーのような代替肉も用意しないとイケません。感謝祭の副菜はマッシュポテトとグレービーソース、パンと野菜とハーブでできたターキーの中に詰めるスタフィング、マシュマロとサツマイモのキャセロール、インゲン豆のキャセロール、芽キャベツ、クリームコーン、トウモロコシでできたパン、クランベリーソースなどが定番です。デザートはシナモンやスパイスが効いたパンプキンパイが一番人気ですが、アップル、スイートポテト、ペカンナッツのパイも人気あります。



ターキー

アメリカは北部と南部、東海岸と西海岸でそれぞれ食文化が異なるので、感謝祭のディナーが場所によって若干違います。そして、アメリカとカナダは移民でできた国なので、家族の文化によって食べ物が違います。例えば、私の友達の中で、中国系の友達は、ターキーよりも、チキンを食べます。フィリピン系の友達はアメリカンの副菜と一緒にルンピアという揚げた春巻きも食べます。黒人の友達は、マカロニ・アンド・チーズやケールに似ているカラード・グリーンを食べます。そして、隣に住んでいた家族はエリトリアという東アフリカにある国から来ましたが、感謝祭にツァビヒーという辛いシチューと薄いホットケーキに見える主食のインジエラを食べました。しかもエリトリアはイタリアの植民地だったので、イタリアの影響を受けて、ラザニアも食べていました。私の母はマサチューセッツ出身で、第一回の感謝祭をアメリカで祝ったピルグリム達の子孫であるため、典型的なサンクスギビングディナーを食べていましたが、近所からスパイシーな料理をいただくと、気分転換になりました。

ご馳走を食べる以外、パレードやアメリカンフットボールを見ます。そして、健康が気にな



感謝祭のディナー

る人は、感謝祭の朝にマラソン大会に参加します。感謝祭の伝統的な食べ物は高カロリーの物が多いため、ディナーが沢山食べられるように、先にカロリーを消費します。感謝祭の次の日は、ブラック・フライデーです。クリスマスの季節の始まりで、バーゲンセールを狙っている人々が朝一から店の外で並んでいます。

最近、感謝祭を祝うべきかどうか、北米で話題になっています。なぜかという、ヨーロッパから植民者が来たせいで、ネイティブ・アメリカンは天然資源や土地が盗まれたり、病気で死んだり、白人に殺されたりして、ものすごく苦しんできたからです。第一回のアメリカの感謝祭の時に、ワンパノアグ族がプリグリムたちを助けなければ良かったと思っている人は少なくありません。ネイティブ・アメリカンにとって、サンクスギビングは感謝する日ではなく、亡くなった祖先のために喪に服する日です。カ

ナダ人とアメリカ人は感謝祭を続けると思いますが、ネイティブ・アメリカンに犯した犯罪を深く反省し、ネイティブ・アメリカンの歴史や文化を学び、協力と尊敬をしていく必要があると思います。そして、感謝祭は、その第一回のアメリカの感謝祭の伝説よりも、今の友達、家族、健康などのことを大事にするべきだと思います。★



喪に服する日(Day of Mourning)のデモは感謝祭に開催されます。



1



3



6



8



4



7



9



2



5

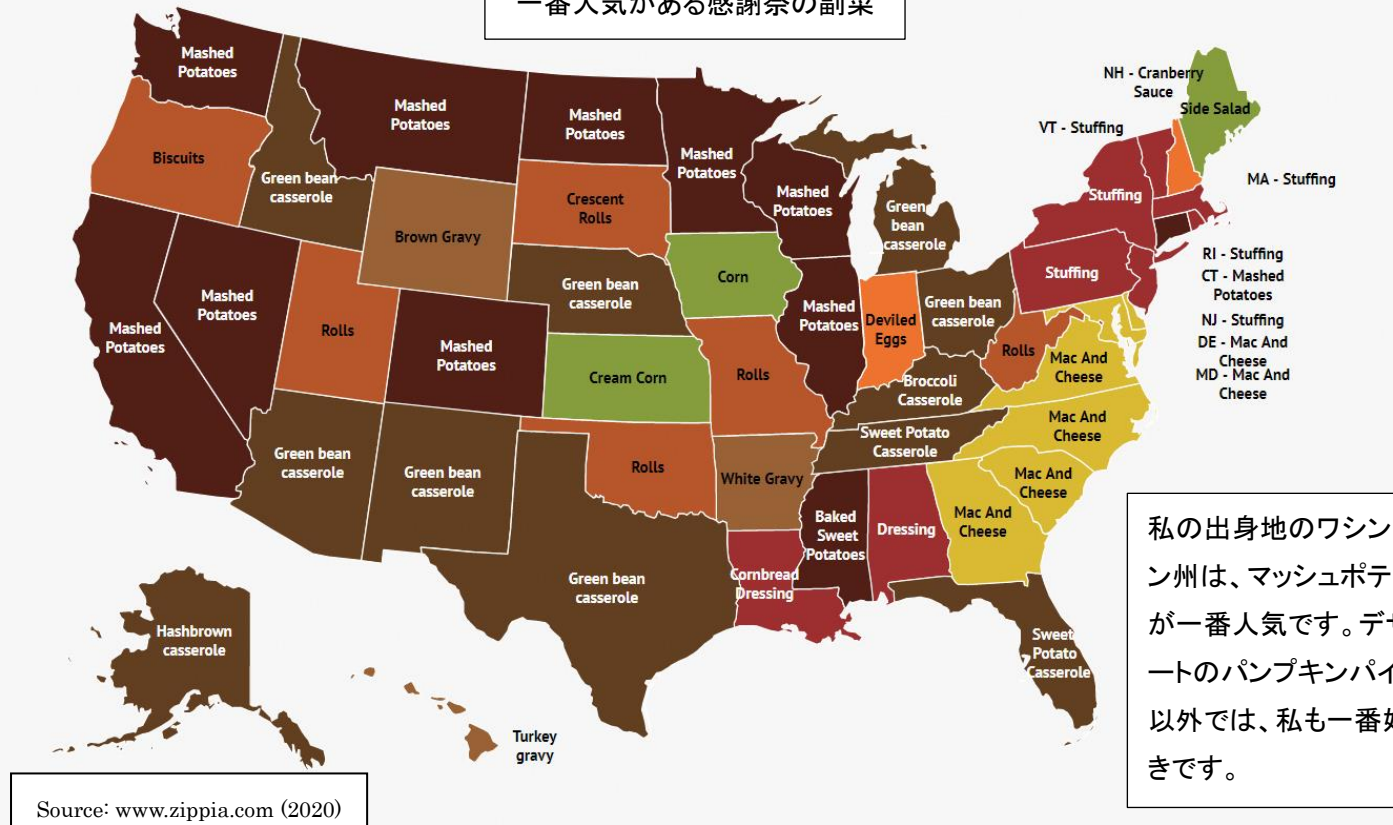


10

1. スタフィング 2. インゲン豆のキャセロール 3. tofurkey 4. カラード・グリーン 5. クランベリーソース 6. パンプキンパイ
7. マカロニ・アンド・チーズ 8. ペカンナッツのパイ 9. ルンピア 10. インジェラと各種ツァビヒー

Most Popular Thanksgiving Sides

一番人気がある感謝祭の副菜



私の出身地のワシントン州は、マッシュポテトが一番人気です。デザートのパンプキンパイ以外では、私も一番好きです。

一番好きな感謝祭の料理

江別市在住のアメリカ人とカナダ人に、「一番好きな感謝祭の料理は何ですか?」と聞いてみました。以下に答えてくれました。

Mさん: マッシュポテト、グレービーソース、おばあちゃんのロールパンと手作りジャム

Kさん: スタフイングとグレービーソース

Vさん: 余ったターキーでできたサンドイッチ一週間食べられるよ!

Rさん: パンプキンパイ

Photo credits: Wikimedia commons, maxpixel.net, irasutoya.com

お問い合わせ先
 教育部 生涯学習課 国際交流員
 〒067-0074 北海道江別市高砂町 24 番地の 6
 Tel:011-381-1049 Fax:011-382-3434